

横浜市内の集合住宅にて、最適なエアコン制御に向けた実証を開始しました

横浜市は「I・TOP横浜ラボ」の取組として横浜市住宅供給公社と連携して、集合住宅を実証フィールドとして提供し、新型コロナウイルス感染症対策への対応や、快適な住まいづくりのための新たなIoT製品・サービスの実証実験に関する提案を令和2年7月から8月にかけて募集して8件を採択しました。採択した提案については順次、実証実験を進めており、今回8件目として、IoTタップを用いた最適なエアコン制御を目指した実証実験を開始しました。

本取組を通じて、「イノベーション都市・横浜」をさらに推し進めるとともに、得られる成果を郊外住宅地・団地の再生の取組にも活かしていきます。

取組内容

- ・環境エネルギー総合研究所（東京都中央区）
「AI/IoT/ビッグデータを活用した「ヨコハマ近未来都市プロジェクト」

【対象】ヒルズ南戸塚の個別住戸（1戸）

【実施期間】令和3年3月～9月

【実証内容】エアコンのコンセントに設置したIoTタップ及び温湿度計測機器により、エアコンの電力使用状況及び居室内・エアコン室外機周辺の温湿度を取得します。ここで取得したデータと気象予報データを用いて遠隔操作することにより、住居設置エアコンの省エネ運転効率を向上させ、大きな節電効果が期待されます。

【狙い】エアコン等の遠隔制御による省エネ及び低炭素社会の実現や、住戸における熱中症予防等の快適性向上、さらには高齢者の見守りなどを目指します。



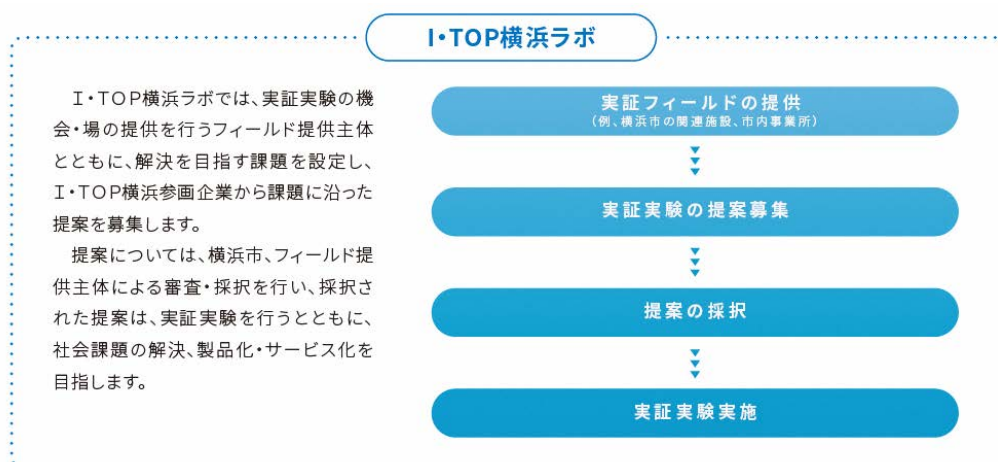
お問合せ先

【I・TOP横浜に関すること】	経済局産業連携推進課担当課長	佐藤 慎一	Tel 045-671-3591
【マンション・団地の再生に関すること】	建築局住宅再生課長	加藤 忠義	Tel 045-671-4543

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております

裏面あり

- 取組概要、採択した提案一覧については下記 URL のページをご確認ください。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/iot/itop/itoplabor2.html>



横浜市は、2019年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していき、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、

市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、「I・TOP横浜」と「LIP横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進します。